

シンポジウム

公文書管理法後の自治体と文書管理

公文書管理法施行から10年が経過しました。同法は、国だけではなく地方自治体の公文書管理にも多大な影響を与えてきました。本シンポジウムでは、これからの展望するために、地方自治体における公文書管理の現状と課題を具体例から検討・議論します。

— プログラム —

◆ 基調報告

- 基調報告 1 自治体における公文書管理の今日的課題 宮間純一（中央大学文学部）
基調報告 2 公文書管理法と自治体 ～法律への副反応？～ 早川和宏（東洋大学法学部）
基調報告 3 千葉県文書館における誤廃棄問題以後の取り組み 柏原洋太（千葉県文書館）

◆ 個別報告

- 個別報告 1 石川県における公文書管理と公文書館設置 工藤航平（東京都公文書館）
個別報告 2 熊本県の公文書管理とその体制 鈴木直樹（中央大学広報室大学史資料課）
個別報告 3 公文書管理法以後の公文書管理の現状と「課題」—福島県を事例にして
高江洲昌哉（神奈川大学国際日本学部）
個別報告 4 香川県における公文書管理の現状 手塚雄太（國學院大學文学部）
個別報告 5 山形県における公文書管理をめぐる動向と民間史料の保存
小関悠一郎（千葉大学教育学部）

◆ 討 論

2021.9.11(土)13:00~17:00

オンライン開催 (Zoom)

— 事前申込制 無料 —

以下のフォームから9月8日(水)までに参加登録してください。

<https://forms.gle/ivoGMDE2oqyuB1bj7>

※ご登録いただいた方に Zoom の URL および予稿集をお送りします。
冊子体の予稿集は数に限りがあるため、先着順とします（在庫切れの場合でも電子媒体で配付いたします）。



【主催】

自治体アーカイブズ研究会
地方公共団体における公文書管理の現状に関する調査・研究（公益財団法人三菱財団 人文科学研究一般助成、代表者：宮間純一）

【共催】

中央大学政策文化総合研究所「地域社会の持続と歴史的資源の保存・活用」チーム（代表者：宮間純一）

【お問い合わせ】

j-miyama@tamacc.chuo-u.ac.jp（宮間）